JR東労組青年部 第26回ヒロシマ現地学習行動――

平和とは人の命を守ること。人の命を守ることは、平和を守ること。

8月5日～7日、第26回ヒロシマ現地学習行動を開催しました。

6日には「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和記念式」に参加しました。8時15分、全体で約5万人の参加者とともに1分間の黙祷を捧げました。

また、今年4月にリニューアルオープンした「広島平和記念資料館」の見学、平和記念公園内の碑めぐりを行い、被爆の実相と核兵器・原爆の恐ろしさ、一つひとつの碑に込められた思いなど、現地踏査を通じて学びました。

7日には、学習講演会を開催し、被爆証言の会の山岡美知子氏（被爆体験伝承者1期生）から「語り継ぐヒロシマ」と題して講演を頂きました。講演では、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさはもちろんですが「過去を振り返らない者は、同じ過ちを繰り返す運命にある」「原爆物語にしてはいけない。あったことを正確に伝えることが大切である」「皆さんの手で平和な社会をつくってほしい」と、参加した一人ひとりに強く問いかけられました。参加者から「戦争は人間性を失うもの」「戦争の本質と核兵器の恐ろしさを知ることができた」など多くの感想が出されました。

私たちは、これからも平和な社会の実現に向けて奮闘します。

JRバス関東本部第8回サマーバーベキュー大会

130名の仲間で大いに盛り上がる！

8月6日、東京都江戸川区葛西臨海公園において、「家族や仲間と絆を深め、共にバス業界の安全と平和な未来をつくり出そう！」をテーマに第8回サマーバーベキュー大会を開催し、総勢130名が楽しい一時を過ごしました。

ビンゴ大会、スイカ割り、わたあめなどで楽しみ、家族や子供たちにとっては夏休みの素晴らしい思い出となりました。レクを通じて仲間との団結の大切さを確認し、組織強化につながりました。

JRバス関東本部は、厳しい時こそ元気よく遊び、安全を最優先に職場で直面している労働条件・職場環境改善を第一に掲げて運動を展開します。組合員と家族から信頼される組織を目指して奮闘していきます。

日営業部会　第32回定期委員会（7月17日）

本部大会議室に60名の組合員が結集し開催しました。

質疑では「内勤・情報体制の見直しの話を受け、脱退された方も含めて議論を積み重ねてきた」「フットサルや花見などのレクを開催し、人間関係を構築してきた」「社員代表選挙に向けて、多くの仲間と議論し理解を得て職場の社員代表になった」「脱退しなければ良かったという方も職場にはいる。これまでの関わりを通じて、組合の必要性を実感してきている」「びゅうの将来像が一定程度示されたが、駅は示されていない。どうやって職場を残していくのかの議論が急務である」など、職場での教訓的な実践が力強く語られました。

私たち営業部会は、「時間軸とスピード感」をもって進められていく各施策に対して、組合員の利益を第一義として、真摯に向き合っていきます。そして、業務的課題を通じて部会運動を強化し「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある営業職場をこれからもつくり出していきます。

運輸車両部会　第27回定期委員会（7月20日）

本部大会議室に100名の組合員が結集し開催しました。氏家副委員長の挨拶では「反対だけでは雇用を守れないという国鉄改革の教訓から、矢継ぎ早に打ち出される施策に向き合い、組合員との議論を通じて方針を明確にすること」が述べられました。

質疑では「新たなジョブローテーションの実施」について不安や不満の声も出されましたが、人口減少や環境の変化に対応していかなくてはならない現実を受け止め、職場での議論で乗り越えてきたという実践的な発言がありました。

また「ワンマン運転の拡大」「車両メンテナンスの展望」等、今後に向けた議論と検証運動の必要性や、バス職場における「慢性的な要員不足」「賃金・待遇面の向上の必要性」が訴えられました。

非常に厳しい組織現実ではありますが、運輸車両部会一丸となって施策に向き合い、業務課題を通じた運動を基に組織強化・拡大を目指していきます。

サークル協議会

明るく！楽しく！元気よく！笑顔あふれるサークル活動を仲間と共につくり出そう！

8月17日、大宮総合車両センター会議室において『JR東労組サークル協議会第30回定期総会』を開催しました。

川島議長からは「各部の自主・自立のサークル活動を労うとともに、組合員が集まれるサークルの場をこれからもつくっていこう。また、止むを得ず脱退した仲間や未加入者と今後もサークルを通して繋がっていくことが大切である」と挨拶がありました。

質疑では、15名の各部・各地本の代表者から、1年間の活動報告と、その中で、悩みながら大会や総会を開催してきた実情や、サークル活動を通じて人間関係を構築している実践が語られました。

組織の存亡がかかっている現状で、組合員や仲間が結集できる場を継続してつくり出し、JR東労組の強化・拡大を目指していくことを全参加者で確認しました。

歴史の事実から学び、真実を見抜く目を養おう！

8月14日、韓国で法定記念日に定められた「日本軍慰安婦被害をたたえる日」として式典が開かれました。一方、日本製品の不買運動が展開されていることも多く報道されています。

昨年10月の徴用工訴訟では、日本企業に対して韓国・大法院が損害賠償を命じました。それ以降7月4日に日本政府は、安全保障上「不適切な事案」があったとして、半導体材料の輸出規制を強化しました。8月2日には、安全保障上の友好国として輸出上の手続きを簡素化する「ホワイト国」から韓国を除外する政令改正を閣議決定しました。そのことを政府は、徴用工問題などへの「経済制裁」や「報復」ではなく、安全保障上の見直しでしかないと主張しています。

すでに3月には、麻生副総理が国会で「関税に限らず、送金停止、ビザ発給停止とかいろいろな報復措置があろうかと思う」と答弁しています。このことからも、安倍政権が半年前から韓国に対する「制裁案」を検討していたと考えられます。

もはや、収集の目処がたっていない状況に至っています。その大きな原因として、一部マスコミが大々的に反日感情を煽る報道をしていることです。一方では、韓国の民間レベルからの「不買運動はやりすぎである」との報道も見過ごしてはなりません。

私たちはこれまで「日韓青年労働者交流」「職種間交流」「日韓労働者交流登山大会」などを通じて、過去の歴史に謙虚に向き合い、学び合い、日韓労働者の連帯を築き上げ、平和な社会の実現を目指してきました。

反日感情を煽るマスコミに一方的に流されるのではなく、これからも互いの立場を認め合い、労働者的交流を深め、真実を見抜く目を養い、労働者の連帯・絆を強固なものにしていきましょう。

第29回 釣り大会に参加しよう！

開 催 日：10月６日(日)～７日(月)

開催場所：宮城県塩竈市えびす屋
（カレイ船釣り、テンヤ船釣り）

宮城県七ヶ浜町
フィッシング山崎
（沖堤防ルアー釣り）

宿泊場所：ホテルグランドパレス塩竈

参 加 費：宿泊料　12,000円

競技参加費

カレイ船釣り　8,000円(エサ付)

テンヤ船釣り　10,000円(エサ付)

※氷はえびす屋にて　300円

※船はレンタルベスト無料

沖堤防ルアー釣り　3,000円

※沖堤防はレンタルベスト100円

集 約 日：第一次集約９月６日(金)

最終集約　９月27日(金)

東日本旅客鉄道労働組合青年部「第34回定期委員会」

日時：８月27日(火)10:30～17:30

場所：ＪＡ共済埼玉ビル　大会議室

一人ひとりの力を結集させ、未来を展望し新生ＪＲ東労組運動をさらに前進させよう！

２０１９政策フォーラム

日にち：11月10日(日)～11日(月)

場　所：ホテル大観

準　備：盛岡地本

労働組合の存在価値を明確にし
雇用を守り安全で働きがいのある職場の創造